



2024年4月4日(木) - 7月7日(日)

東京都写真美術館  
3階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

主催 東京都立芸術文化財団 東京都写真美術館  
後援 J-WAVE 4E.3FM  
開演時間 10:00 - 18:00(※入場受付は20:00まで) ※入場は開演の30分前まで  
※開演日 毎週月曜日(ただし7月15日(祝)休) ※休演日 7月15日(祝)休演  
観覧料 一般 700円 / 学生 560円 / 65歳以上 350円

TOP MUSEUM

TOP COLLECTION  
1200 Months in the Past

# 時間旅行

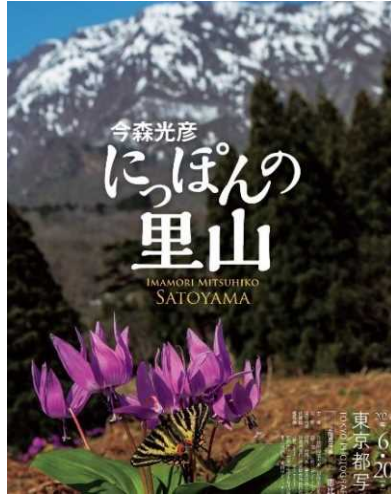
千二百年箇月の過去と  
かんずる方角から

## TOP コレクション 時間旅行

### 千二百年箇月の過去とかんずる方向から

「時間旅行」をテーマとする東京都写真美術館のコレクション展です。宮沢賢治が1924(大正13)年に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』では、宇宙的なスケールの時間感覚の中で「わたくし」の心象、言葉で記録された風景、そして森羅万象とがひとつに重なりあったような「第四次延長」という世界が描かれます。その世界観は当時の最先端の科学や思想から影響を受けた宮沢賢治の想像力が生み出したものです。

本展は百年前である1924年を出発点として、「1924年-大正13年」「昭和モダン街」「かつて、ここで」「20世紀の旅」「時空の旅」の5つのセクションに分け、37,000点\*を超える当館収蔵の写真・映像作品、資料を中心にご紹介します。「時間旅行」をテーマとする本展で鑑賞者は、それぞれの時代、それぞれの場所で紡ぎ出される物語と出会うことができるでしょう。また、本展は宮沢賢治による『春と修羅』序文の言葉をひとつの手掛かりとして、戦前、戦後そして現代を想像力によってつなぐ旅でもあります。写真と映像による時空を超えた旅を、どうぞ。



自然写真家・今森光彦は幼いころから昆虫の生態と美しさに魅力された今森は、世界中の昆虫を求めて精力的に取材活動をつづけ、既成の生態写真にとられない独特な自然観に基づく作品は、内外で高い評価を得ています。また、故郷である琵琶湖周辺を中心とした「里山」と呼ばれる空間を見つめつけ、自然と人との絶妙なバランスで生み出される里山を映像化してきました。本展覧会は今森が出会った日本全国200カ所以上の里山の中から、厳選した作品を紹介するシリーズ最新作です。里山をめぐる今森の旅は、自然と人が調和する空間を鮮やかに浮かび上がらせ、美しく多様性に富んだこの国の自然に気づかせてくれることでしょう。今森光彦のライフワーク、里山シリーズの全貌が解き明かされる「につぼんの里山」にご期待ください。

## 第51回日本写真学会「写真好き」のための定例講演会

### 東京都写真美術館「TOP コレクション 時間旅行」

### 千二百年箇月の過去とかんずる方角から ギャラリートーク付き鑑賞会

### 今森光彦『につぼんの里山』展 鑑賞会のダブル鑑賞会

【日時】2024年6月25日(火) 11:00~12:00 「TOP コレクション 時間旅行」 ギャラリートーク+鑑賞  
同日 12:00以降(昼食後可) 今森光彦『につぼんの里山』自由鑑賞

【主催】一般社団法人 日本写真学会「写真好き」のための定例講演会実行委員会

【会場】東京都写真美術館 3階展示室/2階展示室

■ 3階展示内容はこちら → <https://topmuseum.jp/contents/exhibition/index-4812.html>

■ 3階展示内容はこちら → <https://topmuseum.jp/contents/exhibition/index-4814.html>

【アクセス】〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

アクセスはこちら → [https://topmuseum.jp/contents/pages/access\\_index.html](https://topmuseum.jp/contents/pages/access_index.html)

【講演会形式】展示会場での担当学芸員による写真学会会員向けギャラリートークと展示作品・展示物鑑賞(自由行動)

【定員】20名限定(20名を超えた場合は、抽選となりますのでご承知おき下さい) オンライン参加:無し

【参加条件】写真学会会員および賛助会員会社所属の方

【参加費】「TOP コレクション 時間旅行」の入場券の購入が必要になります。

■ 入場料金: 一般 700円 / 学生 560円 / 65歳以上 350円 1階総合受付にて各自購入をお願いします。

■ 『につぼんの里山』は無料

#### 【プログラム】

10:50~ 東京都写真美術館 3階展示室入口前に集合して下さい。参加受け付けを行います。

開会挨拶: 実行委員会、展示会担当学芸委員

記念撮影(東京都写真美術館学芸委員・関係者+参加者)

11:00~12:00 「TOP コレクション 時間旅行」展 担当学芸員ギャラリートーク・学芸員への質問等

12:00~ 「TOP コレクション 時間旅行」自由鑑賞

12:00以降 今森光彦『につぼんの里山』自由鑑賞

QRコード



【参加申込】こちらのフォームからお申し込みください → <https://forms.gle/bZRDtyYD94oHBhxJA>

【申込締切】2024年6月15日 ※申込多数の場合は抽選になります。

【連絡先】日本写真学会「写真好き」のための定例講演会実行委員会

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学 8号館 1F

Tel: 03-3373-0724 E-mail: [info@spij.jp](mailto:info@spij.jp)

この展覧会は「時間旅行」をテーマとする東京都写真美術館のコレクション展です。

人が様々な時代を自由に旅する「時間旅行」という発想は昔からよく知られたSF的なファンタジーですが、想像の世界や芸術の領域では、人は誰でも時間と空間の常識を飛び越えることが可能なのではないでしょうか。

詩人で童話作家の宮沢賢治が1924(大正13)年に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』では、宇宙的なスケールの時間感覚の中で「わたくし」の心象、言葉で記録された風景、そして神羅万象とがひとつに重なりあったような「第四次延長」という世界が描かれます。その世界観は当時の最先端の科学や思想から影響を受けた宮沢賢治の想像力が生み出したものです。しかし百年前の詩人の言葉とそれを生み出した想像力には、現代という分断の時代を生きる私たちの心にも響く何かがあります。

本展は百年前である1924年を出発点として、37,000点を超える当館収蔵の写真・映像作品、資料を主にご紹介します。「時間旅行」をテーマとする本展で皆様は、それぞれの時代、それぞれの場所で紡ぎ出される物語と出会うことができるでしょう。本展は宮沢賢治による『春と修羅』序文の言葉をひとつの手掛かりとして、戦前、戦後そして現代を想像力によってつなぐ旅でもあります。

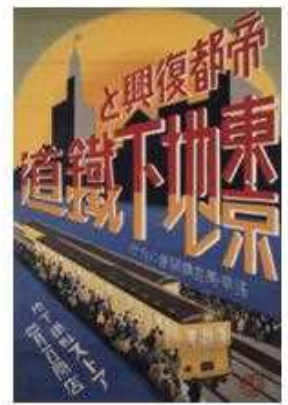
写真と映像による時空を超えた旅を、どうぞお楽しみください。



1



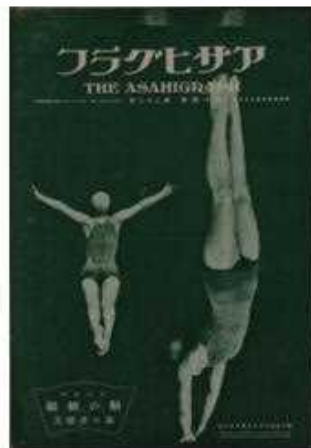
2



3



4



5



6

[展示構成・主な出品作家/作品資料]

第一室 1924年-大正13年

小川月舟、高山正隆、福森白洋、ラースロー・モホイ=ナジ、宮沢賢治、マン・レイ ほか

第二室 昭和モダン街

大久保好六、桑原甲子雄、杉浦非水、中山岩太、福原路草、堀野正雄 ほか

第三室 かつてここで-「アヒスビール」の記憶

「アヒスビール」関連資料、宮本隆司 ほか

第四室 20世紀の旅-グラフ雑誌に見る時代相

大東元、W. ユージン・スミス、雑誌「アサヒグラフ」、雑誌「LIFE」 ほか

第五室 時空の旅-新生代沖積世

岩根愛、川田喜久治、北野謙、木村専一コレクション、佐藤時啓、

高木庭次郎、原美樹子、宮沢賢治 ほか